

「砂川地区保健衛生組合公共施設等総合管理計画（案）」にお寄せいただいたご意見と砂川地区保健衛生組合の考え方

○意見募集期間 令和8年3月2日（月）～令和8年3月31日（火）

○意見提出者数：1名

○意見提出数：1件（個人 1件）

○意見要旨及び意見に対する砂川地区保健衛生組合の考え方

※意見などについては原文の通りとしていますが、一部読みやすくするため修正を行っています。

No	寄せられたご意見など	ご意見などに対する砂川地区保健衛生組合の考え方
1	<p>P.7～P.12</p> <p>「第3章 公共施設・財源の状況と見直し」ほか関連部分 近年の国際情勢、とくに中東地域の不安定化により燃料価格が大きく変動しており、火葬場やごみ処理施設など、エネルギー価格の影響を受けやすい施設の将来経費が、現行の見直しより増加する可能性があると感じています。</p> <p>燃料費の変動を踏まえた複数の見直しを検討していただくと、より実態に近い計画になるのではないかと思います。</p> <p>また、計画全体を通して、次の点が補足されると理解が深まるように感じました。</p> <ul style="list-style-type: none">・人口減少に伴う施設需要の変化について、検討の考え方が示されること・広域連携の方向性について、可能性について触れていただくこと・更新費用の財源確保について、検討方針があれば示していただくこと・社会情勢の変化に対応できるよう、計画の見直し方法が明記されること これらが補足されることで、より分かりやすく	<p>9ページ「火葬場施設経費」及び11ページ「ゴミ処理施設経費」の見込みについて、燃料費の変動を踏まえた複数の経費見直しを検討したらどうかのご意見ですが、本計画における経費の見直しは前計画期間の実績に基づき、昨今の工事費等の上昇率も加味した上での想定であります。当然、過去の燃料費等高騰の影響も経費の上昇に加味したものであります。それ以外の直近の中東地域の不安定化など、国際情勢の大きな変動による長期的な原油価格の影響は不測な部分が大きく難しいところであります。</p> <p>次に関連部分に関する事項であります。</p> <ul style="list-style-type: none">・人口減少に伴う施設需要の変化については、7ページから8ページの火葬場における火葬件数の見込み、動物炉の使用状況、10ページの一般廃棄物処理量の実績及び推計について、令和7年度以降は推計値とさせていただきます。火葬件数や一般廃棄物処理量は人口減少に影響を受けるものでありますので、実績値から年度ごとの年齢別推定人口の増減率を加味した上、推計値をだしております。・広域連携については、16ページ（7）広域的な連携で記載しております。現時点で新たな方向性はなく、本計画では可能性について

	<p>実効性のある計画になると思います。</p>	<p>の記載はしていません。しかし、10年間の長期計画であり、当組合のみで協議できるものではありませんが、計画期間内で連携に新たな動きがある場合は、可能性も含め次期計画で掲載するよう検討いたします。</p> <ul style="list-style-type: none">・更新費用の財源確保については、12ページ(2)歳入の状況でも明記しており、構成市町からの分担金が約8割、その他事業収入が約2割となっております。両施設とも公共性の高い施設であり、事業収入を大幅に増やすことは困難であり、分担金による財源確保については、今後も大きく変わりません。ただし、大きな施設整備等が必要となり新たな財源確保が必要な場合は、より有利な起債など、財源確保の方法をその時点で検討することになります。・計画の見直しについては、1ページ「計画期間」の中で、必要に応じて適宜見直しを図ると明記してあります。また17ページ「フォローアップの方針」において、構成市町との連絡会議を通して見直しを進めると明示しておりますのでご理解いただきたいと思います。
--	--------------------------	--